

自分にはしか出せない音を 指先から奏でる



CLOSE
UP
大村人

現在、ピアニストとしてドイツで活動する安部まりあさん。今年3月にベルリン芸術大学を卒業し、10月からは大好きな故郷、大村に帰ってくるそうです。

ピアノの先生をしていたお母さんの影響で、音楽が身近にあった安部さん。ピアノは3歳から始めました。初めは習い事のひとつ程度だったそうですが、9歳になって恩師と出会ってからは、ピアノの技術もめきめきと上達。東京の上野学園大学演奏家コースを卒業後は、「本場で技術を磨きたい」という強い思いで音楽の都、ウィーンに留学しました。留学当時は言語や文化の違いに戸惑ったが、言語を習得すると、表現力などの幅が広がった」と当時を振り返ります。安部さんは、世界の音楽家と同じ土俵に立つことで腕を磨いてきました。

2009年に長崎県新人演奏会で安部さんはグランプリを受賞。翌年の東京音楽コンクールでも優秀な成績を収め、OMURA室内合奏団とも共演しました。長崎で演奏する機会が増え、5月20日には、大村で再び共演が実現。「音楽をしても演奏できる機会は少ない。地元で演奏できることは、とても幸せ。」と大村への思いがあふれます。

「クラシックというと敷居の高いイメージがあります。今後は、アウトリーチなども行いながら、その垣根をなくせれば」と安部さん。「聴いてくださるお客さんを第一に考え、楽しんでもらえる演奏を。」安部さんにしか出せない音色が大村に響きます。



Profile

あべ・まりあ

桜が原中学校を卒業後、上野学園大学演奏家コースに進学。ウィーン国立音楽大学に留学し修了、ベルリン芸術大学卒業。2010年第8回東京音楽コンクールピアノ部門第1位および聴衆賞、2008年第54回マリア・カナルス国際コンクール審査員満場一致のメダル受賞、2009年第78回日本音楽コンクール入選など。28歳。

ピアニスト

安部 まりあさん



クローズ
アップ

大村人

vol.24

このコーナーは、ふるさとを思いながら、市内外で活躍する大村人、を紹介していきます。